



VOL. 23 No. 3 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1990. 10. 30

「読書案内」の発行について

このたび附属図書館では、「読書案内」を発行しました。これは、主として学部及び短期大学部の新生を対象に、各学問分野の基本的な図書や有益な新刊書を紹介しようとするものです。

近年、青年層のいわゆる“活字離れ”の現象が指摘されています。幼児期から、テレビやビデオと共に育った若者たちにとって、読書という行為が苦痛を伴うものであることは、うなずけます。

しかし、大学生にとって、読書は単に学習活動の一環として、最新の知識や技術を修得する手段であるばかりでなく、一個の人間の魂の成長に関わる大きな役割を担っています。

平成元年11月に本学で実施したアンケート調査では、琉大生の図書館設備や、蔵書の充実に対する関心が、極めて高いことがわかりました。これらのことを踏まえて、さらに図書館利用の活発化を図るためにも、「読書案内」の発行を企画したわけです。

原稿執筆の中心は、教養部及び短期大学部所属教官で、医学等の専門分野についてのみ、関係学部に依頼しました。内容はあまり堅苦しい紹介にならぬよう、また、学問や図書への関心を引き出し、読書意欲を刺激するような表現を心がけていただきました。

歴代の図書館長にも読書に関わるテーマで、執筆をお願いしました。原稿をお寄せいただいた

目 次

「読書案内」の発行について …………… 1	<お知らせ>
OPACシステム理解のために …………… 3	○書庫内禁帯出図書の解除について …… 6
私の研究活動と図書館 …………… 5	○経済学基本図書の利用について …… 8
<係の横顔> 閲覧係 …………… 7	○「琉大オンライン目録検索利用の手引き」… 12
教官著作寄贈図書ご案内 …………… 9	電算化日録 …………… 18
沖縄関係資料新着案内 …………… 12	医学部分館だより …………… 19

方々には、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

ただ、多少残念であったのは、今度の「利用案内」が初めての試みであったためか、原稿を依頼したすべての教官の方に、発行の趣旨が必ずしも十分に理解されなかった面があり、幾つかの分野については、基本的な図書案内ができませんでした。これは来年度以降の課題として、今後もますます充実したものになりたいと考えています。

以下に、「読書案内」の概要を紹介しておきます。まだ残部が若干ありますので、ご希望の方はカウンターへお尋ねください。



- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| ◎読書で自分を伸ばそう | 附属図書館長 | 安富祖 忠 信 |
| ◎乱読弁明の記 | 法文学部教授 | 米 須 興 文 (前館長) |
| ◎もう一度読んでもらいたい本 | 農 学 部 教 授 | 国府田 佳 弘 (元館長) |
| ◎ヘンリー ローソン短篇集 | 本学名誉教授 | 木 崎 甲子郎 (元館長) |
| <人文科学> | | |
| ◎哲 学 | 教養部講師 | 浜崎 盛康 |
| ◎米国文学 | 〃 助教授 | 山里 勝己 |
| <語 学> | | |
| ◎英 語 | 教養部講師 | 山内 進 |
| ◎フランス語 | フランス語関係教官 | |
| ◎中 国 語 | 教養部講師 | 赤嶺 守 |
| <社会科学> | | |
| ◎法 学 | 教養部教授 | 仲地 博 |
| ◎地 理 学 | 〃 助教授 | 前門 晃 |
| ◎文化人類学 | 短大部助教授 | 赤嶺 政信 |
| <自然科学> | | |
| ◎自然科学総合 | 教養部教授 | 池田 孝之 |
| ◎物 理 学 | 〃 講師 | 二木 治雄 |
| ◎地 学 | 教養部 古川教授、黒田助教授 | |
| 〃 (気象学) | 短大部教授 | 石島 英 |
| <体 育> | | |
| ◎保健体育 | 体育関係教官 | (以上全116頁) |
-
- | | | |
|----------|----------|-------|
| ◎歴 史 学 | 教養部助教授 | 山里 純一 |
| ◎沖縄関係 | 〃 | 渡名喜 明 |
| ◎ドイツ語 | ドイツ語関係教官 | |
| ◎スペイン語 | 教養部講師 | 井尻 直志 |
| ◎政 治 学 | 短大部講師 | 星野 英一 |
| ◎経 済 学 | 教養部助教授 | 小松 勝 |
| ◎数 学 | 教養部助教授 | 高久 章 |
| ◎医学 (全般) | 医学部教授 | 草場 昭 |
| 〃 (基礎) | 〃 | 小杉 忠誠 |
| 〃 (臨床) | 〃 | 柘山幸四郎 |

OPACシステム理解のために

附属図書館では、去る6月26日から所蔵する図書目録情報のオンライン検索サービスを開始しました。同時に、『琉球大学オンライン目録検索利用の手引き』を作成し、データベースの概要や検索方法、コマンドの使用方法などについて紹介してきましたが、図書館専用端末の利用者のなかには、はじめて端末機に触れるという方も多く、検索がうまくいかない状況がしばしば見られるように思われます。その原因には、おもに次の二つがあげられます。

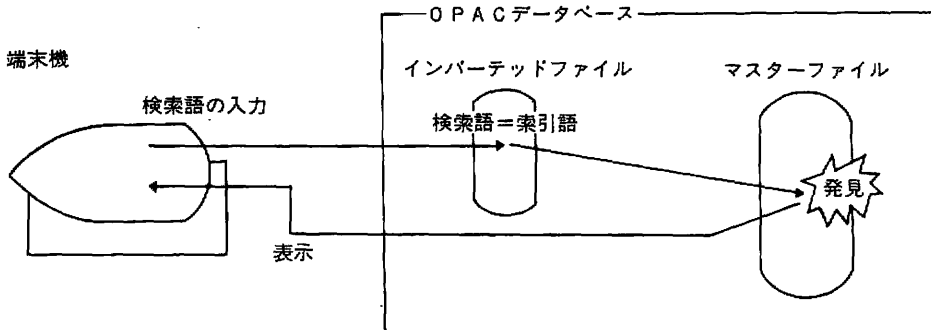
- (1) 端末キーボードの操作が複雑 (特に日本語変換方法)
- (2) 検索の方法

(1)については図書館の検索コーナーにある「起動・終了の手順」や「日本語変換方法」等で説明してありますのでそれらを利用していただくことにしまして、ここでは(2)の検索方法に関連して、検索時における処理の概略とデータベースのファイルについて紹介します。

1. 検索開始から結果の表示まで

琉球大学オンライン検索システム (以下OPACと略します) のデータベースは、マスターファイルとインバーテッドファイルで構成されています。マスターファイルとは、データベースの本体であり、入力されているすべての図書目録情報が1図書ごとにまとめられて格納されています。インバーテッドファイルは、転置ファイルともよばれ、高速な検索ができるように作成されるもので、このデータベースでは、各検索項目ごとに索引を作っています。検索項目は、書誌ID (BID) ・出版年 (YEAR) ・書名 (TR) ・巻号 (VOL) ・出版事項 (PUB) ・関連書誌 (PTBL) ・著者 (AL) ・分類 (CLS) ・件名 (SH) ・所蔵事項 (HOLD) の10個です。したがって10個のインバーテッドファイルを作成しています。

一般的に、本文と索引で構成されている冊子体目録類で図書を探す場合には、書名や著者名などを手がかりにして、まず、索引で本文のどこにあるかを確認してから目的とする図書を調べます。そのほうが、本文のはじめから直接探していくよりもずっと速く効率的です。OPACで通常を検索をする場合にもコンピュータの中で同じようなことをやっているのです。そのとき冊子体目録の本文、検索に相当するのが、それぞれマスターファイルとインバーテッドファイルなのです。端末機から検索語を入力して実行すると、まずインバーテッドファイルの索引の中から検索語に該当する索引語を探し出し、それからその索引語を持つ図書目録情報をマスターファイルの中から探し出して端末機に表示させます。これら一連の概念を簡単な図で表しますと次のようになります。



2. インバーテッドファイル ー索引ー

それでは、検索の時最初に関わってくるインバーテッドファイルについてももう少し紹介を続けます。OPACでは10個のインバーテッドファイルを作成していますが、その中の書名項目のインバーテッドファイルについて、和図書の例をあげて進めましょう。

次の図書目録情報をご覧ください。

書誌ID	BN0182609X
出版年	1987
書名	中国近代政治思想史入門／横山宏章著 チュウゴク キンダイ セイジ シソウシ ニュウモン
出版事項	東京：研文出版，1987.12
形態	327P；20cm
注記	参考資料：P324-327
関連書誌	研文選書 ケンブン センシヨ
著者	横山，宏章(1944-) ヨコヤマ，ヒロアキ
分類	ND C8：311.222
件名	政治思想-中国
所蔵事項	311.222, Y79/琉大ID 0000880122214/本館/一般

これは『中国近代政治思想史入門』という図書の検索結果であるとともに、同図書についてのマスターファイルにあるすべての情報です。さらに書名項目を細かく見てみると次のようになります。

中国近代政治思想史入門／横山宏章著 || チュウゴク キンダイ セイジ シソウシ ニュウモン
 書名 著者名 書名ヨミ (分かち書き)

中国近代政治思想史入門 横山宏章著 チュウゴク キンダイ セイジ シソウシ ニュウモン

上記から書名項目は、書名、著者名と分かち書きされた書名ヨミ（原則として単語単位）で構成されていることがわかります。これら三つの要素で成り立っている書名項目はマスターファイル中では、一つの単位として格納されていますが、それが、インバーテッドファイル中では、書名、著者名、書名ヨミが、空白や'/'、'|'などの区切り記号の部分で分解されて、左図のようにそれぞれが独立して作成され、その一つ一つが、索引語になっています。

このようにして書名項目のインバーテッドファイルは、マスターファイルのすべての項目について構成する要素を分解して索引化しています。残り九つのインバーテッドファイルについても同様に索引語を作成しています。

実際に検索をするとき、コンピュータの中でどのように処理されているかは目に見えません。少しでもイメージできれば検索がやりやすくなるのではと思い紹介してみました。

私の研究活動と図書館

大城 肇

私たちの経済社会には、一国内での常識が国際間で通用しないことがしばしば散見される。「借金を重ねてきたが、借りたお金の返済は止めにしよう。」とかいう厄介な事態もその一例である。国内での個人の場合は、法の番人によって差押えや財産没収等のペナルティが課されるから、借りた方が勝ちといった開き直りは許されない。しかし、貸手が民間商業銀行等で、借手が一国政府である場合は、「借りた金は返さない。」と開き直ることが可能であり、実際に1980年代に入って、そのような事態がラテンアメリカ諸国を中心にいくつか生じている。

借手の政府（この場合、発展途上国政府）は、自国領土内において自国の不利益となる請求を却下することができるから、貸手たる民間銀行（この場合、日米欧の国際的商業銀行）は、契約の履行を強要することが困難になる。かつては貸手側の政府による軍事圧力によって支払を迫ることも可能であったが、現在ではこのような帝国主義的手段に訴えることは勿論できない。

以上の問題は、私が関心をもっている発展途上国の累積債務問題の根幹をなす事象である。私の研究テーマは、「経済発展過程における資本と技術の特性分析」であり、ゆくゆくは地球環境に優しい経済発展モデルとはいかなるものかを見極めたいと思っているが、発展途上国の累積債務問題は途上国における経済発展（経済開発）の諸相を見通すのによい題材である。

累積債務問題とは、所得水準が低く、輸出競争力の弱い発展途上国が、経済発展のためや対外収支赤字の穴埋めのために、あるいは借入金の返済のために、先進国の民間銀行等から資金借入を行ったものの、さまざまな構造要因に基づく国内経済の血行障害によって債務が累積し、種々の問題を惹き起している状態をいう。例えていえば、サラ金地獄に似ている。借金が借金を重ね、果ては自殺者が出たり、家庭が崩壊したりすることに似た、国家レベルの悲劇が起りかねないのである。

発展途上国の累積債務問題は、債務支払能力の問題として、従来、捉えられてきた。しかし80年代に入って、問題の核心は債務支払能力の問題から債務支払意思の有無の問題へと移ってきた。意思の問題は、水を飲む意思のない馬に水を飲まそうとする虚しい努力に似て、とかく厄介である。失業の概念に、働く能力があり、働く機会（職場）があるのに、当の本人に働く意思のない若旦那的な自発的失業というのがある。この場合は、若旦那がしばしば放蕩息子として落語の主人公となっているように、社会的にはたいした問題にはならない。近年、勉強意思のない学生が増えたとして、大学の社交化・大衆化を嘆く向きもあるが、こちらの方は、学生本人が、後日、なにがしかのペナルティに遭遇する。債務支払意思の欠如の場合は、債務支払不履行という重大な結果に至り、債務国側、債権銀行側双方に大きな代償をもたらす。債務国側は半永久的に国際金融市場から閉め出され、ただでさえも困難な経済発展がますます困難になるおそれがある。一方、債権銀行側は破産の憂き目に遭い、国際金融危機の引き金になりかねない。

借金は返さない、という債務支払不履行がなぜ起こるのか。いろいろな説明因子があるが、ここでは借手、貸手の間にある情報の非対称性という要因を取上げてみよう。情報の非対称性というのは、情報が不十分であるために、貸手は借手の質やリスク度を十分識別できないことから、借金を返す意思のない不良借入国を予め排除することができないことを意味する。この要因によって生ずる借金返済の不履行を防止するためには、情報の流れをよくすると同時に、貸手側の情報の収集力と分析力を高める以外にない。

さて、発展途上国の累積債務問題はカレントなトピックであるだけに、研究者の関心も高い。学会の最先端での分析アプローチの情報を入手するために、私は附属図書館情報サービス課の

DIALOG を活用している。DIALOGは、米国DIALOG Information Services 社が提供するオンライン情報検索システムであり、理工学、医学、人文、法律、経済、ビジネスなど広い分野にわたる320以上のデータベースに、1億5千万以上のレコードを収録している。その中で私がよく利用するデータベースは、ECONOMIC LITERATURE INDEX と SOCIAL SCISEARCH である。厳しい予算制約のなかで、学術雑誌の蔵書数が絶対的に少ない本学において、DIALOG は力強い味方である。

附属図書館では、DIALOG のほか NACISIS-IR や JOIS 等の情報検索システム、目録情報検索システム OPAC など、着々と情報化システムが整備されつつある。本学のような地方大学における研究・教育活動は、施設面、予算面で大きなハンディを負っているが、進展しつつある情報化は、そのような不利性のなかでの活性化にひとすじの光明を投げかけている。

情報化時代で重要なことは、私たち利用者サイドが情報をどれだけ主体的に取捨選択し消化できるか、ということであろう。本学に赴任してまだ日の浅い私個人についてみると、図書館の情報センター機能を十分に活用してきたとはいいがたい。図書館がどのような情報ソースならびにそのシステムを有しているかを知らなすぎた。ひとまず、図書館に対するこれまでの私たちの意識を変えなければならない。図書館のハード、ソフト両面の整備・拡充を図っていくことは、今後とも緊要な課題であることに変わりはないが、他方において、図書館を総合学術情報センターとして捉え、積極的に活用していく利用者サイドの意識改革・積極姿勢も同時に求められているのである。利用者の主体的取組みによって、情報格差はある程度是正できよう。図書館の情報機能を有効に活用することによって、私たちは研究者としての、あるいは学生としての責務を不履行することがないようになりたいものである。

(おおしろ はじめ：法文学部助教授・国際経済学)



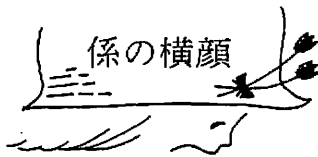
書庫内の全集類が借りられる ようになりました!!



この夏休み期間中に附属図書館本館では、書庫内の禁帯出図書の大部分を解除しました。禁帯出図書とは、利用を館内だけに限定し、貸出禁止措置を取っている図書で、通常は辞書等の参考図書、大型で高価な美術書、古書や和装本等の貴重図書、マイクロ資料等を指定の対象としています。

本学では、従来これらの資料に加えて、限定版の個人全集等についても禁帯出とし、書庫内に配架していました。現在では、個人全集は指定から除外されていますが、図書にはまだ禁帯出の赤いラベルが貼られたままになっていました。今回の作業では、書庫2層及び3層にあった約2万2千冊の禁帯出図書のうち、本来の趣旨に従って指定されるべきものを除き、約2万冊以上について赤いラベルをはがすか、×印を付しました。

これにより新たに、思想家、作家等の個人全集をはじめ、経済学、教育学、民俗学等各分野の叢書類や伝記集等も貸出できるようになり、通常の読書や学習活動が大変便利になっただけでなく、卒業論文の作成等にも役立てることになりました。大いにご利用ください。ただし、これらの図書にはIDラベル貼られていませんので、他の図書に比べると貸出の際に若干時間がかかることがありますので、予めご了承ください。



閲覧係

受入係で収集・受入・登録された図書館資料は、整理係で分類・目録・装備されて閲覧係に回送されてきます。閲覧係ではこれを部類分けし、学生用図書（一般図書）は書架へ配架し、教官研究用図書は直接各教官へ貸出します。

このように図書館資料（図書・雑誌・視聴覚資料等）の閲覧・貸出サービスを行なう係が閲覧係です。閲覧係は利用者と図書館資料をむすびつける重要な係であるといえます。

閲覧係のサービスカウンターは正面玄関の階段を上った階（2階）です。カウンターは図書の貸出し返却手続きの他に、図書館利用に関する相談の窓口でもあります。カウンターの前には各種の図書目録や検索ツールが用意されています。

★図書・雑誌・視聴覚資料の貸出しについて

図書館の資料は貸出され、利用されることによってその価値が増すものといえます。図書館では、この夏休み期間中に書庫内の禁貸出図書の大部分を解除し、貸出しを行なうことにしました。この中には個人全集も含まれています。また、学術雑誌は教官や院生にのみ貸出しをしてきましたが、今年の4月から学部学生へも複写のための貸出しを行なうようになりました。さらに、ビデオテープ、カセットテープ等の視聴覚資料の貸出しも実施しています。

★資料の配置について

書庫内への出入りは沖縄関係資料室を除いては自由です。2階、3階の開架閲覧室にない図書は別棟の書庫（各階から通路で結ばれている）も探してください。どういう資料がどこの書庫に配置されているかを知るには、図書館利用案内か、各階出入り口の配置図をご覧ください。

★新聞の展示について

3階のブラウジングコーナーには、国内5大紙と県内の2紙を展示してあります。国内の5紙は東京版で前日のものが、県内の2紙は当日のものが展示されています。国内紙は1年間保存した後廃棄します。県内紙は製本して永久保存します。朝日新聞と沖縄タイムスの縮刷版もおいてあります。また、英文紙はNew York TimesとJapan Timesの2紙です。

これらの新聞については、2階の貸出しカウンターへお問い合わせください。

★国立大学図書館間共通閲覧証の発行について

他の国立大学図書館を利用したい場合は、本学図書館長が発行する上記閲覧証を相手館へ提示する必要があります。入館のときに、本証と身分証明書あるいは名刺を提示して下さい。特に希望の資料を閲覧したい時は、前もってその資料名を相手館へ連絡して下さい。

なお、この閲覧証の発行は、教官および院生に限ります。事前に2階貸出しカウンターで申し込んで下さい。

★研究用図書の貸出しについて

教官研究用図書の貸出し手続きについても、9月1日よりこれまでのマニュアル方式からコンピューター方式に変更しましたので、貸出しを受ける際は職員証をご持参下さい。

係では一刻も早く先生方へ本を届けるように努めておりますが、諸般の事情で本の到着が遅れる場合もあります。先生方の中には、通知を発送してから数か月から1年たっても受領に来られない方もいて困っています。保管書架のスペースの問題もありますので、早めの受領をおねがいします。

★指定図書について

本学が他国立大学に先駆けて指定図書制度を実施してから32年になりますが、「授業との関連で必読させ、教育効果を高める」という指定図書制度本来の趣旨が必ずしも理解されているとは思えない面があります。

図書館では、指定図書制度の見直しを行なうため、文書を教官へ発送しご協力をお願いしているところです。

1) 専門課程用

- ・原則として利用は館内閲覧とし、必要に応じて一夜貸しを行います。
- ・指定教官には、毎年一点ごとに指定を継続するか解除するか意向を確認します。
- ・新たに指定を追加する場合の副本は最大3部までとします。
- ・今回解除されたものは、一般図書として閲覧室に配架します。

2) 一般教育課程用

- ・一般図書として扱い、貸出の対象とします。
- ・ただし、数量が多いため増架が実現するまでの間はラベル、配架場所とも現状どおりとします。

★OPAC検索(オンライン目録検索)について

図書館あるいは研究室に備えつけてある専用端末機を使って本学図書館が所蔵する図書を検索することができるようになりました。これをOPAC(Online Public Access Catalog)検索と称しています。

文献情報量の増大に伴い、目的の図書あるいは雑誌論文を検索する手段として本学図書館でもカード目録に代わって、コンピュータが使用されるようになりました。1986年以降所蔵する図書を確認するには2階ウインター前に備えつけてある5台の端末機で検索して下さい。マニュアルを置いてありますので誰でも簡単に利用できます。わからない点は職員へお尋ねください。1986年以前の情報については、ウインター前に備えてあるカード目録および冊子体目録をご利用下さい。情報処理センターと結ばれている端末機であれば、研究室でも検索できます。

★CD-ROM検索について

記録メディアの形態として、印刷形態(印刷資料)の他に電子的形態(電子記録)が近年急速に進歩・普及してきました。CD-ROM(Compact Disc-Read Only Memory)もその一形態です。CD-ROMは参考図書類を中心にこれからも増える傾向にあります。装置はカウンター前にあります。

本学図書館が所蔵するCD-ROMは、電子広辞苑(岩波書店)、現代用語の基礎知識(自由国民社)、模範六法(三省堂)、朝日新聞記事データベース(日外アソシエーツ)、8か国語辞書 最新科学技術用語辞典(三修社)、学術雑誌総合目録(和文編)の7種類です。

この他に医学部分館には、Medline(Dialog社)があります。

◎経済学基本図書の利用について

以前、内需拡大策の補正予算で購入した外国学術図書14点の内、一部未整理になっていた経済学基本図書(A Collection of Fundamental Books on Economics, from Loyola Seminary Library Fordham University)の残り約1,400冊がこの程整理が済み1階、階段側に設置している書架に排架し利用に供しました。

この経済学の図書は1800-1975の欧米を中心とした経済学理論、経済学史、経済統計、労働経済、農業、運輸、商業、財政等各分野にまたがっており、本学の経済学図書の充実に役立つものと思われれます。主な書名は下記の通りです。

1. Ellis, Howard Sylvester, 1898-
The teaching of economics in Latin America. Washington, 1961.
2. Berlin, Isaiah.
Karl Marx; his life and environment. London, 1949.
3. Blanqui, Jerome Adolphe, 1798-1854
History of political economy in Europe. New York, 1880.
4. Essentials of economic theory as applied to modern problems of industry and
public policy. New York, 1907.
5. Passfield, Sidney James Webb, baron. 1859-1947.
The decay of capitalist civilisation. Westminster, 1923.
6. Babson, Roger Ward, 1875-
Looking ahead fifty years. 4th ed. New York and London, 1942.
7. Boger, Ernest Ludlow, 1870-
An economic history of the United States. 4th ed., New York, 1924.
8. Tannenbaum, Frank, 1893-
The labor movement; its conservative functions and social consequences. New York,
1921.
9. Taylor, Henry Chales, 1873-
Outlines of agricultural economics. New York, 1925.
10. Chalmers, Henry, 1982-
World trade policies: the changing panorama, 1920-1953; a series of contemporary
periodic Survey. Berkeley, 1953.
11. Helms, George Nikolans, 1901-
Monetary theory, a modern treatment of the essential of money and banking. 2nd
ed. Philadelphia, 1946.
12. Bennett, Orval.
Public finance. Cincinnati, 1949.

教官著作寄贈図書ご案内

1989.12 ~ 1990.8

<法文学部>

池宮 正治

近世沖縄和歌集 ひるぎ社 1990.5

半田 一郎

- (1) 日本語基礎史料集 東京外国語大学 1980.3
- (2) 日本語基礎史料集 新編 東京外国語大学 1981.3
- (3) 日本語基礎史料集 3 東京外国語大学 1982.3
- (4) 日本語基礎史料集 新版 東京外国語大学 1983.3
- (5) 日本語基礎史料集 1984-1986年版 東京外国語大学 1984.3~1986.3

- (6) The History and fables of AEsop, translated and printed by William Caxton at Westminster 1484 facsimile edition.
東京外国語大学 1979.3
- (7) The Historye of reynart the foxe, by William Caxton, prepared by Ichiro Handa. 東京外国語大学 1986.3
- (8) Eventyr og Historier i udvalg, H. C. Andersen, Redigeret af Ichiro Handa. 東京外国語大学 1985.3

上村 幸雄

長田須磨の奄美の民話と昔がたり—奄美大島大和浜方言の記録—琉球列島班編 1990.3 (文部省重点領域研究:日本語音声)「琉球列島における音声の収集と研究」琉球列島班 (A 4班) 平成元年度成果報告書

津波高志

沖縄社会民俗学ノート 第一書房 1990.6 南島文化叢書11

<教育学部>

玉城 政光

教育・発想の転換 ひるぎ社 1990.2

西里 喜行

冊封体制の解体と清末知識人の東アジア認識:台湾・琉球・越南・朝鮮問題を通して 1990.3「平成元年度科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書」

花城 梨枝子

消費者教育 第9冊 光生館 1989.11

上原 盛文

パソコン通信を利用した帰国研修員のための支援活動についての基礎的研究 1990.2「電気通信普及財団研究調査報告書 No.4 p368-37」

水野 益継

刑法学と行動科学:規範と事実の交叉する行為概念の研究 八千代出版 1990.3

西村 貞雄

- (1) 首里城正殿実地設計(彫刻)報告書 沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所 1990.3
- (2) 首里城正殿大龍柱(縮尺1/5)復元経過について 沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所 1988.3 (首里城正殿予備設計報告書)
- (3) 龍柱について 教育学部紀要第33集第1部別刷 1988

島尻 政長

ピアノ学習者のために レッソンの友社 1990.5

<理学部>

氏家 宏

琉球弧を中心とする太平洋西縁域における後期新生代海洋環境変動の研究 1990.3「平成元年度科学研究費補助金(一般研究A)研究成果報告書」

西平 守孝

- (1) サンゴ礁の渚を遊ぶ:石垣島川平湾 ひるぎ社 1988.11

(2) フィールド図鑑 造礁サンゴ 東海大学出版会 1988.12

(3) 沖縄のサンゴ礁 沖縄県環境科学検査センター 1986.9

細谷 将彦

結晶構造変化の一般的現象論の基礎 (私家版)

山本 聰

深海遠洋性チャートに含まれる遠洋粘土鉱物の堆積化学的研究 1990.4

「平成元年度文部省科学研究費補助金 (一般研究C) 研究成果報告書」

渡久山 章

論文集1~25、26~50 (私家版)

<医学部>

大鶴 正満

こし方の記:ある基礎医学者の覚え書 大鶴正満教授退官記念会 1989.5

名嘉 幸一

(1) 保健室における精神衛生活動—若菜会10年のあしあと—学校精神衛生事例研究会「若菜会」
編 1990.6 (10周年記念誌)

(2) 保健行動・疾病対処行動に関する総合的研究「琉球大学教育研究学内特別経費研究成果報告書」 1990.3

<工学部>

新里 寛英

管外面局所加熱方式による管内汚れ係数および管内流速の測定法の開発 1989.11

<農学部>

新城 明久

First course in statistics. Laboratory of animal breeding college of agriculture, University of The Ryukyus. (農学部畜産学科) 1990.3

屋我 嗣良

シロアリと木材成分 日本木材学会編 海青社 1989.7

<教養部>

池田 孝之

(1) 地域からの発想:文化・社会・自然・生活環境から沖縄を読む ひるぎ社 1989.10

(2) 沖縄の景観 沖縄景観研究会編 沖縄建設弘済会 1989.12

(3) 子どもが見つけた身近かなまち景観—新しい都市・住環境教育の試み—琉球大学教養部都市計画研究室 1987.4

與那城 勝邦

Collective excitations and transport properties in device materials.

<短大部>

小濱 哲

沖縄におけるリゾート化の現状と課題 1990.2

天児 慧

中国近代化の調査記録 研文出版 1990.2

沖縄関係資料新着案内

0類 総記

1. 沖縄の博物館ガイド 沖縄県博物館協会 1990.5
2. 最新データ・沖縄 1990 沖縄タイムス社 1990.5
3. 資料編集室紀要 第15号 沖縄県立図書館 1990.3

1類 哲学

4. 風水思想と東アジア (渡邊欣雄) 人文院書 1990.7
5. 神と村 (仲松弥秀) 集社 1990.7

2類 歴史

6. 幕藩制国家の琉球支配 (紙屋敦之) 倉書房 1990.2
7. 鎮西八郎為朝 (津本陽) 講談社 1989.4
8. 江戸っ子のみた沖縄もう一つの案内 (新田見卓) アドバイザー 1990.1
「アド. ブックス わが道をゆく2」
9. 花綵の海辺から (大江志乃夫) 朝日新聞社 1990.3
10. 石垣市史 資料篇近代6 新聞集成 (石垣市総務部市史編集室) 石垣市役所 1990.3
11. 嘉手納町史 資料篇2 民俗資料 (嘉手納町史編纂委員会) 嘉手納町役場 1990.3
12. 喜界島風土記 (拵嘉一郎) 平凡社 1990.4
神奈川大学日本常民文化叢書1
13. 金武区誌: 戦前新聞集成資料 (金武区誌編集室) 1989.9
14. 久米島の歴史と民俗 (仲原善秀) 第一書房 1990.8
15. 国頭村: 郷愁とロマンをさそう沖縄県北端の村 (仲宗根幸市) 沖縄フェース

1990.1

16. 真玉橋之記 (久保孝一) 1990.3
17. 真境名由康: 人と作品 下巻・作品編 真境名由康生誕100年記念事業会「真境名由康一人と作品」刊行委員会 1990.2
18. 南大東村誌 改訂 (南大東村誌編集委員会) 南大東村役場 1990.1
19. 宮古島郷土史 第5部 (砂川明芳) 1989.10
20. 名護市史・別巻1: 写真集名護一ひとびとの100年 (名護市史編さん委員会) 名護市役所 1990.8
21. NHKかごしま歴史散歩 (原口泉) 近代美術 1989.11
22. 中頭郡誌 (比嘉徳) 1989.11
23. 波高しノ漂流琉球船 (比嘉朝進) 風土記社 1990.6
24. ニューヨーク七転八倒: 名護マサー比嘉 (比嘉照行) ボーダーインク 1990.8
25. 西田文光伝: 激動の時代に生きて (西田文光伝刊行委員会) 1989.9
26. 二足の草鞋: 中村喜代治の軌跡 (宮城信行) 1990.2
27. オギヤの声に励まされて: 助産婦六十年の記録 (我謝光子) ぱる出版 1990.5
28. 沖縄人名録 1990 (沖縄タイムス) 沖縄タイムス社 1990.1
29. 沖縄県史料: 沖縄民政府記録2-戦後3 (沖縄県立図書館史料編集室) 沖縄県教育委員会 1990.3
30. 沖縄のサムレー: 家譜にみる士族 (比嘉朝進) 1990.9
31. 沖縄戦こぼれ話 (浜松昭) 月刊沖縄社 1990.6
32. 沖縄史の暗黒時代 (西平守盛) 1990.6

33. 沖縄市史 第八巻 資料編7・附録—近代期の新聞にみる歴史—(沖縄市立郷土博物館) 沖縄市教育委員会 1990. 3
34. 歴史散歩ぐしかわ(大野頭) 1989.12
35. 琉球王国評定所文書 第四巻(編集委員会) 浦添市教育委員会 1990. 3
36. 琉球処分: 探訪人・大湾朝功(渡久山寛三) 新人物往来社 1990. 2
37. 崎山誌(崎山誌編集委員会) 今帰仁村字崎山公民館 1989. 8
38. 冊封体制の解体と清末知識人の東アジア認識—台湾・琉球・越南・朝鮮問題を通して—(西里喜行) 1990. 3 平成元年度科学研究費補助金(一般研究C) 研究成果報告書
39. 多良間村史 第5巻資料編4 芸能(多良間村史編集委員会) 多良間村 1989. 9
40. 新琉球史 近世編下(琉球新報社) 1990. 3
41. 當山久三: モーキティクーヨー(石田磨柱) 1990. 7
42. 追想 新里善福(編集委員会) 1990. 8
43. ヤマネコ保健婦: 三十五年のあゆみ(山城ヒロ子) 沖縄コロニー 1989.12
- 3類 社会科学
44. 地域マーケティング: 沖縄県を中心に(新城俊雄) 同文館出版 1990. 6
45. 地域主義からの出発(玉野井芳郎) 学陽書房 1990. 3 玉野井芳郎著作集第3巻
46. 長寿県ウチナー: 100歳(琉球新報編集局) 琉球新報社 1990. 6
47. どの子も勉強好きになる法(神山英一) 琉球医学心理研究所出版部 1989. 8
48. フォトドキュメント・ベトナム戦争と人間(石川文洋) 創和出版 1989.12
49. 概説 沖縄の労働経済 増補改訂版(沖縄労働経済研究所) 1989. 7
50. イナグヤナナバチ: 沖縄女性史を探る(堀場清子) ドメス出版 1990. 1
51. 糸満アンマー: 海人の妻たちの労働と生活(加藤久子) ひるぎ社 1990. 3
52. 神々の海嶺: 八重干瀬の島から(福多久) 海風社 1990. 5 南島叢書63
53. 経済学の遺産(玉野井芳郎) 学陽書房 1990. 7 玉野井芳郎著作集第1巻
54. 検証 昭和の沖縄(大田昌秀) 那覇出版 1990. 7
55. 希望の大地で: 南米の沖縄社会(山城興勝) ニライ社 1990. 7
56. コモンズの経済学(多田田政弘) 学陽書房 1990. 4
57. 国頭村の昔話(遠藤庄治・丸山顕徳・安里和子) 同朋舎出版 1990. 5 南島昔話叢書4
58. 冥府往還記(福多久) 海風社 1990. 3 南島叢書54
59. 民俗・地名そして日本(谷川健一) 同朋舎 1989. 8
60. 民俗知識論の課題: 沖縄の知識人類学(渡邊欣雄) 凱風社 1990. 8
61. 那覇養護学校創立20周年記念誌(沖縄県立那覇養護学校創立20周年記念実行委員会) 1990. 3
62. 南島研究と折口学(慶応義塾大学国文学研究会) 桜楓社 1990. 3
63. 南島の村落(谷川健一) 三一書房 1989.11 日本民俗文化資料集成第9巻
64. 沖縄人へのメッセージ(サザンプレス編集部) サザンプレス 1990. 5
65. 沖縄官公労運動裏面史 上(編集委員会) 沖縄県官公庁労働者共済会 1990. 5
66. 沖縄経済論批判(来間泰男) 日本経済評論社 1990. 4
67. 沖縄・宮古・多良間島の儀礼歌謡の研究(玉城政美) 1990 平成元年度科学研究費補助金一般研究C 成果報告書

68. 沖縄における社会組織の特質と地域社会の変動に関する実証的研究 (鶴飼照喜) 1990. 3 平成元年度科学研究費補助金総合研究A研究成果報告書
69. 沖縄の祭り (沖縄県博物館) 沖縄県立博物館友の会 1990. 3
70. 沖縄社会民俗学ノート (津波高志) 第一書房 1990. 6 南島文化叢書11
71. 沖縄・佐敷町の昔話 (立命館大学説話研究会) 1989. 3 佐敷町文化財11
72. 沖縄統計年鑑 第33回 (沖縄県企画開発部統計課) 1990. 3
73. 桜魂年鑑 平成元年度版 桜魂社護国塾 1990. 2
74. 女が男を守るクニ: 久高島の年中行事 (比嘉康雄) ニライ社 1990. 4 神々の古層 2
75. 終わりよければ: 特別養老人ホーム現場からの報告 (吉田嗣義) 創思社出版 1990. 3
76. 琉大風土記: 開学40年の足跡 (沖縄タイムス社) 沖縄タイムス社 1990. 6 琉球大学開学40周年記念
77. 琉球大学40年 (琉球大学開学40周年記念誌編集専門委員会) 琉球大学 1990. 5
78. 琉球のニュー・エスノグラフィー (松井健) 人文書院 1989.12 神戸学院大学教養部人間科学研究叢書
79. 琉球列島の沖縄人・日本の少数民族 (崎原貢) 1989. 9 抜刷
80. 琉球通宝銭図譜 (瓜生有伸) 天保通宝研究会 1984. 6
81. 崎山節のふるさと: 西表島の歌と昔話 (川平永美・安溪遊地・貴子) ひるぎ社 1990. 7
82. サラリーマン: 本土と沖縄ここがこう違う (大城光雄) 光データシステム 1990. 3
83. 成長する企業: 企業家精神と人間的魅力 (平敷慶宏) ニライ社 1989.12
84. 生活文化研究所年報 第1-3輯 ノートルダム 清心女子大学生活文化研究所 1987-89
85. 主婦が神になる刻: イザイホー 久高島 (比嘉康雄) ニライ社 1990. 5 神々の古層 5
86. それは九州に始まった (フジネットワークシステム(FNS)九州) 海鳥社 1989. 6 We love 九州それは九州に始まった 1
87. 創造: 21世紀に向けて (第37回日本PTA全国研究大会沖縄大会実行委員会) 1990. 3
88. 天皇・沖縄・白保: 忘んなよ沖縄: 江上ゼミナール10周年記念誌 琉球大学文学部江上ゼミナール 1989.10
89. 天皇制と地主制 上下 (安良城盛昭) 塙書房 1990. 4 昭和63年度文部省補助出版
90. 等身大の生活世界 (玉野井芳郎) 学陽書房 1990. 7 玉野井芳郎著作集第4巻
91. 憑きもの (谷川健一) 三一書房 1990. 3 日本民俗文化資料集成第7巻
92. 海や森は誰のもの?: 今、地域で何がおこっているのか! (リゾートを考えるシンポジウム実行委員会読谷塾ゆめあーるリゾートを考える会) 1990. 5 第1回リゾートを考えるシンポジウム報告書
93. 屋部の民話 (名護市史編さん室) 名護市教育委員会 1990. 3
94. 八重山共和国—八日間の夢— (榊田武宗) 築摩書房 1990. 4
95. 八重山のお嶽—嶽々名・由来・祭祀・歴史 (牧野清) あーまん企画 1990. 6
96. 八重山のすびんちゅ (比嘉豊光・村山友江) 読谷村字楚辺誌編集室 1990. 1
97. 幼児から何を学ぶべきか (照屋敏勝) 新

読書社 1990. 4

4類 自然科学

98. いらぶの自然 動物編 (いらぶの自然編集委員会) 伊良部町 1990. 3 伊良部町公教育百年記念事業
99. これでわかる薬用植物 (中田福市・中田貴久子) 新星図書出版 1990. 5
100. 門は開かれて: らい医の悲願一四十年の道 (犀川一夫) みすず書房 1989. 1
101. 沖縄気象台百年史 (沖縄気象台) 1990. 3
102. 沖縄の気象暦 (日本気象協会沖縄支部) 1989. 11
103. 沖縄の気象と天気 (高良初喜・佐々木正和) むぎ社 1990. 1
104. 琉球弧を中心とする太平洋西域における後期新生代海洋環境変動の研究 (氏家宏) 1990. 3. 平成元年度科学研究費補助金一般研究A研究成果報告書
105. 深海遠洋性チャートに含まれる遠洋粘土鉱物の堆積化学的研究 (山本聡) 1990. 4 平成元年度文部省科学研究費補助金一般研究C研究成果報告書
106. 診療手帳よりII (沖縄メディカルエッセイストクラブ) ひるぎ社 1990. 6

5類 工学

107. 亜熱帯地方・沖縄における台風による都市災害の特性評価とその防災力の変遷について (矢吹哲哉) 1990. 3 平成元年度科学研究費補助金重点領域研究2研究成果報告書
108. 沖縄人の食卓: 水と土と光を食す 文化出版局 1990 季刊「銀花」第82号
109. 沖縄の復興断片: 建築家から見た戦後10年 (大城龍太郎) 池宮商会 1989. 12
110. 沖縄の景観 (沖縄景観研究会) 南西印刷

1989. 12

111. 民家と町並: 九州・沖縄 (文化庁・東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館) 1990. 7 日本の美術7第290号
112. わが家の沖縄風茶懐石280選 (西大八重子) サザンプレス 1990. 5

6類 産業

113. 放送余閑: 草創期のラジオ・テレビ (安里慶之助) 1989. 11
114. 南西諸島における肉牛の生産と市場対応に関する研究 (吉田茂) 1990. 3 昭和62~平成元年度科学研究費補助金一般研究B研究成果報告書
115. 沖縄でつくる楽しい家庭菜園 (喜久山守良) 沖縄出版 1990. 5
116. 沖縄県農林水産行政史第7巻 林業編 (編集委員会) 1989. 3
117. 沖縄県の農業構造改善事業 (沖縄県農林水産部農政課) 1989. 10
118. リゾート開発: 沖縄からの報告 (三木健) 三一書房 1990. 7

7類 芸術

119. 雨のなかのコンサート: 喜納昌吉歌の風景 (青木健作) 清水弘文堂 1989. 9
120. 大琉球写真帖 (大琉球写真帖編集委員会) 1990. 7
121. 石川真生写真集: フィリピン (石川真生) 1989. 9
122. 石川真生写真集: 港町エレジ (石川真生) 1990. 4
123. 沖縄空手剛柔流 (玉野十四雄) 新人物往来社 1990. 7
124. 沖縄の歌三線: その風土とところ (安里盛市) 一莖書房 1990. 1
125. 琉球王家秘傳武術: 空手・武器術 (松尾兼徳左近) ベースボールマガジン社

1990. 9
 126. 写真集： 沖縄戦（那覇出版社編集部）
 1990. 3
 127. 大正琴のしらべ第二集： ピアノ・バイオリン・三味線と共に楽しめる（池原ツル）
 1989. 5
 128. 続 遙かなる甲子園： 社会へ羽ばたいたその後の球児たち（戸部良也）双葉社
 1990

8類 言語学

129. 奄美諸島方言の言語地理学的研究（上村幸雄）1990. 3 平成元年度科学研究費補助金総合研究A研究成果報告書
 130. 日本語会話本（仲村芳信）りゅうぎん国際化振興財団 1990. 8
 131. 日本列島言語史の研究（中本正智）大修館書店 1990. 5
 132. 沖縄言語と共同体： ウチ社会の意識とことば（内間直仁）社会評論社 1990. 4

9類 文学

133. 青珊瑚： 沖縄エッセイストクラブ作品集（沖縄エッセイストクラブ）ひるぎ社 1990. 4
 134. 碧の殺意（津野創一）双葉社 1989.12
 135. 合同句集 藍（真栄城いさを）藍の会 1990. 4
 136. 100人の沖縄コラム（めどるま文庫） 1990. 1
 137. 息の諸： 平良好児歌集（平良好児）麻姑山書房 1989.10
 138. いのちの譜（呉我春男）六法出版社 1990. 1
 139. 句集 藍衣（屋嘉部奈江）1989. 7
 140. 人魚の骨（立松和平）六興出版 1990. 1 立松和平初期作品集 1
 141. 人生列車： 老人のユンタク（兼次佐一）政経情報社 1989.10
 142. 風のゆくえ風の場所（金城哲雄）脈 1990. 4
 143. 歌集 風道（国吉順達）六法出版社 1989. 9
 144. 歌集 浜昼顔（玉城洋子）芸風書院 1990.10
 145. 歌集 せせらぎ（玉城澄子）1989.12
 146. 近世沖縄和歌集： 本文と研究（池宮正治ほか）ひるぎ社 1990. 5
 147. 句文集 戦後の木（玉城一香）沖縄俳句研究会 1989. 8
 148. 燃える海： 輸送船富山丸の悲劇（福地曠昭）海風社 1989.10 南島叢書41
 149. 南天の花： ありし日の清子を偲ぶ（前田清）沖縄コロニー 1989.11
 150. ねこのマタキチいい天気（日本児童文学者協会）国土社 1989.10 夢はいろいろ5
 151. 日記版・おきなわキーワードコラムブック VOL. 2（まぶい組）沖縄出版 1990. 4
 152. おでかけ上手に（仲本瑩）紫陽社 1990. 7
 153. 沖縄びとの幻想（関広延）三一書房 1990. 5
 154. 沖縄文学全集 第7・8巻（編集委員会）国書刊行会 1990. 7・8
 155. 沖縄近代詩集成1： 琉球新報—明治三十一年—昭和十五年（仲程昌徳）法政大学沖縄文化研究所 1989.10 沖縄研究資料10
 156. 沖縄の少年（儀間海邦）新幹社 1990. 6
 157. 「おもいまつがね」は歌う歌か： 古日本文学発生論・続（藤井貞和）新典社 1990. 1 叢刊日本の文学8
 158. 「おもい」の思想 中（崎間敏勝）琉球文化歴史研究所 1990. 7 シリーズ琉球の文化と歴史の考察第8号

159. 島尾敏雄論他 (中山正道) 近代文藝社 1989.12
160. 心弦：生徒と教師の合同句集 (野ざらし延男) 具志川商業高等学校 1990.3
161. 詩集 いのち・あらたに (矢野克子) 講談社 1989.11
162. 詩集 開閉 (上原紀善) でいご印刷 1989.12
163. 詩集 開放地に (知念和江) 手帖舎 1990.6
164. 詩集 流動するもの (新城兵一) 脈 1990.4
165. 詩集 誘発の時代 (星雅彦) 石文館 1989.10
166. 小詩集：純白の鳥たちへの鎮魂のための11篇 (進一男) 書肆季節社 1990.2
167. 唐破風：第三合同歌集 (泉国夕照) 梯梧の花短歌会 1990.3
168. 當銘芳郎集：訪春万感 (當銘芳郎) 近代文藝社 1989.9 日本全国俳人叢書第19集
169. つらねの時代 (仲程昌徳) ひるぎ社 1990.5
170. わが家の沖縄戦・戦後史「芳枝八五歳の夏」(平良宗芳・宗潤・宗稔) 1989.11
171. 私の沖縄戦記 (濱川昌也) 那覇出版社 1990.6
172. 夢か現か (伊波実) 1990.4

『琉球大学オンライン目録検索利用の手引き』を配布します。

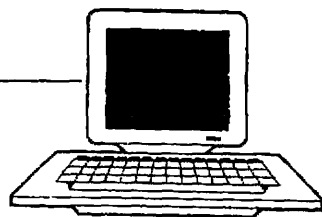
附属図書館では、琉大が所蔵する図書の日録情報を全学的にオンライン検索できるOPAC (オンライン目録検索システム) を去る6月26日より稼働させておりますが、利用者教育の一貫として使い方についての説明会を6月28日から7月10日の間 (平日午後3時から約30分程度) 行いました。

これは図書館に来館した者を対象に呼び掛けて行ったもので、約70名の方が参加しました。今では多くの方がこのシステムを自在に利用できるようになっており、求めている図書の検索に大いに役立てています。

また各教官にたいして、使い方を説明したマニュアル『琉球大学オンライン目録検索利用の手引き』の配布方についての案内文を送付し、希望者にたいしてすでに配布しております。このマニュアルは起動方法から検索方法等を記述した簡易な冊子体ですが、追加、修正や改定があったときには、受領された方へ、そのページを送付し、さし替えていただく方式となっております。マニュアルの配布は現在も行っておりますので、まだ配布を受けていない教官で希望者がおりましたら下記の係あて申し込んで下さい。

附属図書館情報サービス課学術情報係 内線2146

図書館事情



電算化日録

(1990年4月～8月)

- 4月2日 OPAC構築特別作業(継続～)
- 3日 ILIS容量拡張(WBOOKS)
- 5日 OPACデモ
閲覧パラメータ、規則設定変更
- 10日 学情個別版(和・洋図書)申請
情報検索用モデム交換
- 18日 学情個別版(和・洋図書)入手 学総目と文編端末入力作業終了
OPAC中間報告(係長会議)
- 5月10日 天候不良のためILISオフライン運用
- 15日 貸出利用者ファイル更新(学生)
- 16日 OPACデモンストレーション
- 24日 OPAC用プリンター機種選定
- 25日 貸出利用者ファイル更新(職員)
- 31日 OPAC用端局設置申請
- 6月1日 附属図書館電算化委員会
OPACマニュアル原稿作成(～6月14日)
- 18日 館内職員OPAC研修会(～6月22日)
- 21日 国際センター研修生への電算化業務説明
OPAC端末接続テスト
- 23日 NMCプログラム入れ替え
- 25日 OPAC始動式、懇親会
- 26日 OPACサービス開始
- 27日 利用者へのOPAC使用説明会(～7月10日)
- 7月10日 OPACデータ更新
- 11日 富士通との定例会
- 16日 講演会(キャンパスLANのありかた、金沢正憲京大助教授於:事務局)
- 23日 学総目個別版と文編・欧文編入手
- 8月1日 専用電算化委員メンバー選定
沖縄関係目録データベース構築特別作業(継続～)
- 2日 放送大学生への図書貸出についての打合わせ
- 3日 国際資料電算処理打合わせ
- 7日 富士通との定例会
- 8日 ILISDB編成打ち合わせ

医学部分館だより

[デモンストレーション]

平成2年6月25日(月)～29日(金) 14:00～15:00 OPACデモンストレーションを実施しました。医学部分館職員が説明にあたり、期間中約15名が練習しました。

[来館者]

平成2年8月30日(木) 15:00～16:00
沖縄ビジネス外語学院・医療秘書科の学生5名と引率者1名が来館。医学部分館の役割と機能電算化の現状を説明し、館内を案内しました。

[寄贈図書・雑誌等]

平成2年5月より8月までにご寄贈いただいた主な分を掲載します。(敬称略)
附属病院薬事委員会

- (1) 「Formulary of Ryukyu University hospital. 3rd ed.」1990 分類：QV772
崎原盛造(保健社会学教授)
- (2) 「昭和50年度環境白書」 分類：WA670 他11冊
福田雅俊(眼科学教授)
- (3) 「内科学書」全3巻 1982 分類：WB100 他79冊
井上文英(生化学第一助教授)
- (4) 雑誌「Isotope news」367(1985,1)以降継続
名嘉幸一(精神衛生学助教授)
- (5) 「保健室における精神衛生活動—若菜会十年のあしあと—」1990 分類：WA352
荒木弘一(内科学第二助教授)
- (6) 雑誌「糖尿病」Vol.25～Vol.29(1982～1986) 他7種 185冊

琉球大学附属図書館報“びぶりお”第23巻 第3号 [通巻第88号]

平成2年10月30日 発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 (09889)5-2221 内線(2143) びぶりお編集委員会